

寒地稲作成功 150 周年記念 太子町立竹内街道歴史資料館令和 5 年度企画展

寒地稲作の祖

中山久蔵

会期 令和 5 年 10 月 7 日 (土) ~ 12 月 3 日 (日)

寒地稲作
この地に
始まる

開館時間 午前 9 時 30 分 ~ 午後 5 時まで
(受付は午後 4 時 30 分まで)

休館日 月曜日 (祝日の場合は開館)

入館料 大人 200 円

高校・大学生 100 円

小・中学生 50 円

(20 名以上の団体は 2 割引き)

主催 太子町教育委員会・北広島市教育教育委員会

共催 大阪府町村長会

太子町立竹内街道歴史資料館

住所 大阪府南河内郡太子町大字山田 1855 番地 電話 0721-98-3266

アクセス 近鉄南大阪線上ノ太子駅下車、金剛バス「太子町役場」下車、東へ徒歩 15 分

展示趣旨

「寒地稲作の祖」と呼ばれる中山久蔵は、現在の太子町春日に生を受けたことで知られています。

令和5年は、中山久蔵が北海道で寒地稲作を成功させて150年にあたり、その偉業を顕彰して、企画展を開催いたします。

中山久蔵は、文政11年(1828)に河内国石川郡春日村(太子町春日)にて生を受けました。17歳の頃、家を飛び出し諸国放浪した後、明治6年(1873)に北海道の月寒村(現・北広島市)へ永住したといわれています。

その同年に、道南より北では不可能といわれた稲作を成功させるといった偉業を成し遂げました。久蔵の偉業はこれにとどまらず、種もみを無償で多くの人に分け与えて稲作を全道に広め、北海道が米どころとなる礎を築きました。

展示では、久蔵の故郷である春日村の紹介から始まり、北海道での活躍に焦点をあてています。展示を通じて、郷土の偉人である中山久蔵を多くの人に知っていただく機会となれば幸いです。



中山久蔵肖像
(北広島市教育委員会提供)

展示より前に先行して開催!

まいぞう
赤毛と“う米蔵”を
プレゼント

寒地稲作成功150周年記念フォーラム

～中山久蔵翁、明治の寒地稲作挑戦から

日本が誇る米どころへ～

日時：令和5年9月23日(土) 13:40～16:30

【受付13:00より】

北広島市で開催されるフォーラムを太子町で映像配信します。フォーラム後は、久蔵の赤毛と赤毛の品種改良により誕生した「ななつぼし」と「あやひめ」をブレンドした“う米蔵”^{まいぞう}を無料で配布します!

なお、久蔵が広めた赤毛種は、今も北広島市水稻赤毛種保存会が育てられています。

遠隔会場：万葉ホール(太子町山田 88 太子町役場 1階)

人数：50名 ※事前申込制 太子町会場の申込開始は9/1より開始

申込方法：竹内街道歴史資料館へ電話(0721-98-3266)、又はご来館にてお申し込みください。

主催：北広島市・北広島市教育委員会・寒地稲作成功150周年記念事業実行委員会

《当日の流れ》

13:40～オープニングセレモニー(花笠笠踊り・広島音頭・相撲甚句)

14:00～15:20

(1)「～中山久蔵翁、明治の寒地稲作挑戦から日本が誇る米どころへ～について」

寒地稲作成功150周年記念事業実行委員会 委員長 橋本博氏

(2)市民ジュニア研修交流事業報告

参加者による太子町視察結果報告

(3)基調講演「北の大地における『皇国の米』と中山久蔵」

元酪農学園大学非常勤講師 郡司美枝氏

-----〈休憩15分〉-----

15:40～16:30

(1)寒地稲作成功150周年記念 特別リレートーク

①「島松駅通所の明治天皇—明治14年(1881)9月2日」

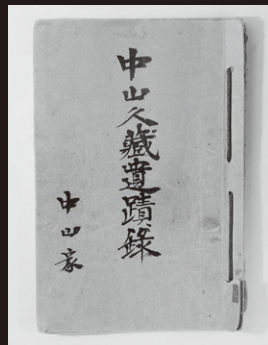
明治神宮国際神道文化研究所研究推進課 主任研究員 打越孝明氏

②「北海道のお米と島松沢の将来について～赤毛からゆめぴりかへの軌跡～」

認定特定非営利活動法人 クラーク博士別れの地・久蔵の里普及促進会

理事長 藤田久雄氏

株式会社 アジア地域連携研究所 研究部長 遠藤卓也氏



左より
駐蹕處(北広島市) / 中山久蔵遺蹟録(北広島市教育委員会所蔵) /
明治天皇より授けられた三ツ組銀盃(北広島市教育委員会所蔵)

会場 太子町立竹内街道歴史資料館

住所 大阪府南河内郡太子町大字山田1855番地

電話 0721-98-3266

アクセス 近鉄南大阪線ノ太子駅下車、
金剛バス「太子町役場」下車、東へ徒歩15分

休館日 月曜日(祝日の場合は開館)

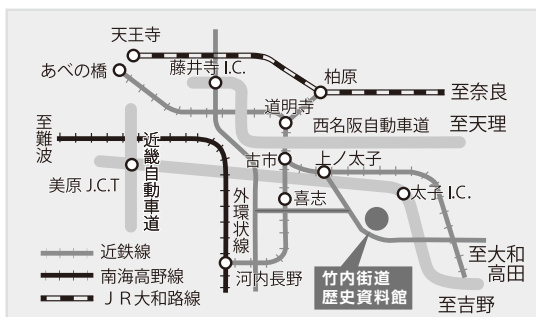
開館時間 午前9時30分～午後5時まで

(受付は午後4時30分まで)

入館料 大人200円/高校・大学生100円/小・中学生50円

20名以上の団体は2割引き

鉄道・道路案内図



付近案内図

